

## 山 緑水園で春の山菜を楽しむ会開催 の味に会話も弾む

レークサイドアリーナ（下中谷）で4月25日、『春の山菜を楽しむ会』が開催され、およそ200人が春の味覚を堪能しました。

南部町主催で行われていた山菜会を2年前から緑水園が引きついでおり、今回は株式会社に社名変更したのを記念しての開催となりました。

当日は、南さいはく特産うどの粕漬けや山菜ごはんを始め、竹するめのきんぴら、猪肉の塩やき、煮込みなどジビエ（野生鳥獣肉）料理も堪能しました。ゲストには南部町PR大使（鳥取県住みます芸人）の「ほのまる」が登場。竹するめ音頭などで会場を盛り上げました。

美味しい料理に舌鼓（写真上）  
ほのまるの二人も一緒に竹するめ音頭（写真下）



「見てくれた人の心に灯がともるような人形を作りたい」と話す安部さん

## 人 安部朱美トークショー開催 形作りは自分をさぐる作業です

5月19日に緑水湖研修センターで南部町（旧西伯町）出身の創作人形作家、安部朱美さんのトークショーが開催され、訪れた人たちが熱心に耳を傾けました。

安部さんは「図書館で手にした紙粘土人形の本をきっかけに創作活動を始めました。たくさんの縁がつながって絆や愛、和みをテーマに創作活動を続けています」など、出会いの大切さや創作に対する思いを語りました。また総合福祉センターしあわせ玄関前のブロンズ像「絆—明日への詩」制作エピソードも披露。訪れた女性は「今日のお話はとても勉強になりました。生きるパワーを貰いました」と話しました。

※「夢を形にして30年—安部朱美創作人形展」は6月24日まで祐生出合いの館にて開催中

## 緑 鳥取銀行がリレー植樹 を守り大切にする取り組みを呼びかける

つくし保育園で5月20日にリレー植樹が行われ、園庭の一角にみかんの木2本が植樹されました。

この取組は、鳥取県が推進する「とっとりグリーンウェイブ」の機運を高めようと、鳥取銀行が県内の学校や保育所など25カ所を巡回しているもので、今回が4カ所目の植樹となりました。

式にはつくし保育園の年長組が参加。同行取締役常務執行役の足立日出男さんは「みかんの木のように、広く根を張って実を結ぶ人になってください。そして大人になっても、ここに植樹をしたことを忘れないでくださいね」と園児に呼びかけました。

みんなで協力して植樹を行いました（写真上）  
最後はトッキーノと一緒にダンスで楽しみました（写真下）

